

## 第2期 決算公告

株式会社J&Jヒューマンソリューションズ  
東京都品川区上大崎二丁目24番9号  
代表取締役社長 横山 弘

### 貸 借 対 照 表

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

| 科 目      | 金 額         | 科 目             | 金 額          |
|----------|-------------|-----------------|--------------|
| 資 産 の 部  |             | 負 債 の 部         |              |
| 流動資産     | 594,712,956 | 流動負債            | 542,247,035  |
| 現金及び預金   | 149,426,998 | 営業未払金           | 60,617,903   |
| 営業未収金    | 358,185,834 | 未払金             | 322,102,140  |
| 棚卸資産     | 45,000      | 未払費用            | 54,536,000   |
| 前払金      | 14,350,097  | 未払法人税等          | 21,507,853   |
| 前払費用     | 13,784,489  | 未払消費税等          | 62,516,200   |
| 繰延税金資産   | 23,437,804  | 預り金             | 20,534,939   |
| 短期貸付金    | 19,262,314  | 前受収益            | 432,000      |
| 未収金      | 7,169,121   | 固定負債            | 43,593,100   |
| 立替金      | 8,950,113   | 預り保証金           | 4,000,000    |
| その他の流動資産 | 101,186     | 退職給付引当金         | 39,593,100   |
| 固定資産     | 151,372,010 |                 |              |
| 有形固定資産   | 47,838,863  | 負 債 合 計         | 585,840,135  |
| 建物附属設備   | 38,328,855  | 純 資 産 の 部       |              |
| 器具備品     | 9,510,008   | 株主資本            | 160,244,831  |
| 無形固定資産   | 27,959,053  | 資本金             | 30,000,000   |
| ソフトウェア   | 27,695,053  | 資本剰余金           | 76,221,198   |
| 電話加入権    | 264,000     | その他資本剰余金        | 76,221,198   |
| 投資その他の資産 | 75,574,094  | 利益剰余金           | 54,023,633   |
| 差入保証金    | 49,788,277  | 利益準備金           | 7,500,000    |
| 長期前払費用   | 1,840,834   | その他利益剰余金        | 46,523,633   |
| 繰延税金資産   | 23,944,983  | 繰越利益剰余金         | 46,523,633   |
|          |             | (うち当期純利益)       | 18,533,277 ) |
|          |             | 純 資 産 合 計       | 160,244,831  |
| 資 産 合 計  | 746,084,966 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 746,084,966  |

## 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法を適用しております。

（リース資産以外）  ただし、平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備は定額法を適用しております。

#### (2) 無形固定資産・・・・・・・・定額法を適用しております。

（リース資産以外）  なお、ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5 年）に基づく定額法を適用しております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金・・・・・・・・従業員退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（自己都合退職金要支給額）を計上しております。

### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理・・・・・・・・税抜方式によっております。